

新作きもの展示商談会

# 九重の麗宴

*kokone no reien*

●会期——令和4年 10月14日(金)～16日(日)

14日(金)11時～18時 / 15日(土)10時～18時 / 16日(日)10時～17時

●会場——増上寺 光摂殿 東京都港区芝公園4丁目7-35

●主催——京都丸紅株式会社 <https://www.kyobeni.co.jp>

電話・075-342-3297





ごあいさつ

拝啓 錦秋の候 皆様にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。

さて、今回二回目の開催となります「九重の麗宴」では、時代を超えて伝わる逸品きものや、お洒落シーンを楽しんでいただけるきもの数々をご覧いただきたいと思ひます。

会場は、六百年以上の歴史をもつ東京・芝「増上寺」にて開催致します。昔と今、歴史と風情を兼ね備える空間で、日本の美しいものたちに囲まれる時間をお楽しみください。

今、この時代にこそ大切にしたい想いを共有し、きもの未来が豊かなものになるよう伝統の技にふれていただけたらと願いを込めて… 皆様のご来場を、スタッフ一同心よりお待ちしております。

敬具



三縁山増上寺参門眺望之図 昇斎一景 明治5年(1872)



江戸名所 芝増上寺 従山門上市中眺望之図 広重(歌川広重初代) 安政元年(1854)

## ●会場—— 大本山 増上寺 光摂殿

開山から六〇〇余年…

徳川将軍家との深いゆかりを持つ増上寺

徳川将軍家との深いゆかりを持つ増上寺は、江戸時代、日本有数の大寺院へと発展しました。開山から六百余年。江戸時代の隆盛から一転、激動の近世を生き抜き、現在に至るまでの歴史を感じていただける増上寺。勝運・災難除けの靈験あらたかな仏として、江戸以来広く庶民の尊崇を集めた黒本尊(くろほんぞ)をお祀りしています。



### 光摂殿

平成十二(二〇〇〇)年、「心を洗ひ、生きる力を育てる」ための講堂、道場として完成しました。一階に講堂、三階に大広間を備えています。大広間、各天井の天井絵は、二一世紀への美術遺産として伝えつがれる作品です。

### 浮世絵に描かれた増上寺の賑わい

江戸時代、増上寺は徳川家の菩提寺として隆盛の極みに達しました。

全国の浄土宗の宗務を統べる総録所が置かれたのはじめ、関東十八檀林(だんりん)の筆頭、主座をつとめるなど、京都にある浄土宗祖山・知恩院に並ぶ位置を占めました。

檀林とは僧侶養成のための修行および学問所で、当時の増上寺には、常時三千人もの修行僧がいたといわれています。

寺所有の領地(寺領)は一万余石。二十五万坪の境内には、坊中寺院四十八、学寮



百数十軒が立ち並び、「寺格百万石」とうたわれています。

名所江戸百景  
増上寺塔赤羽根  
歌川広重  
安政4年(1857)

### 光摂殿大広間 天井絵

大広間の天井には、日本画壇を代表する、故・小倉遊亀画伯、故・上村松篁画伯をはじめ、一二〇名の日本画家による作品が奉納されています。

作品のテーマは、「四季の草花」。平成九(一九九七)年から、東京都庭園美術館名誉館長の鈴木進先生監修のもと、約三年の歳月を費やして描かれた作品が奉納されました。

雅やかに九重の華ひらく麗しい宴、

# 京友禅 上野家二人展

その変わらぬ美を支えてきたのは  
本物だけを見極め、孤高の文化を築き上げた  
都びとの厳酷なまでの美意識だろうか。  
そんな京都で、友禅師として四代にもわたり  
匠の技を守り続ける家がある。  
京友禅の名門・上野家。その歴史は、友禅の歴史でもある。



式代 上野為二・作



上野街子・作



杉浦伸・作

日本三代友禅の一つである「加賀友禅」。  
「加賀五彩」といわれる藍・黄土・草・古代紫・藤脂を基調とし、  
その独自性と艶やかさで現代も人々を魅了し続けています。

艶やかな自然美に職人技が光りを放つ

## 加賀友禅

### 来場作家

清染居

上野街子  
(うえの まちこ)



京都室町の呉服問屋の長女として産まれる。

上野為二(昭和30年重要無形文化財保持者に指定)の次男、清二と結婚。

清二は新匠工芸展や世界クラフト会議、現代工芸作家展に出品するなど幅広く活動していたが、昭和58年に急逝。

その後、夫の遺志を弟子たちとともに継ぎ、工房名を「清染居」として創作に励む。

2002年6月にはワールドカップ開催記念としてアメリカ・ワシントンで「京友禅展」が開かれた。その展覧会では着物の着付けを披露し話題に上った。



# 光 彩 友 禪

きものと光の演出を追求した  
ロマンティックモダン

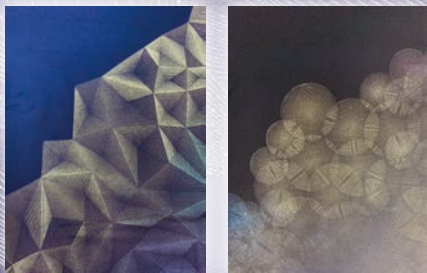
シンプルさと繊細さ

その極細箔技法と数々の色箔が奏でる光のハーモニーが  
光彩友禪のきもの

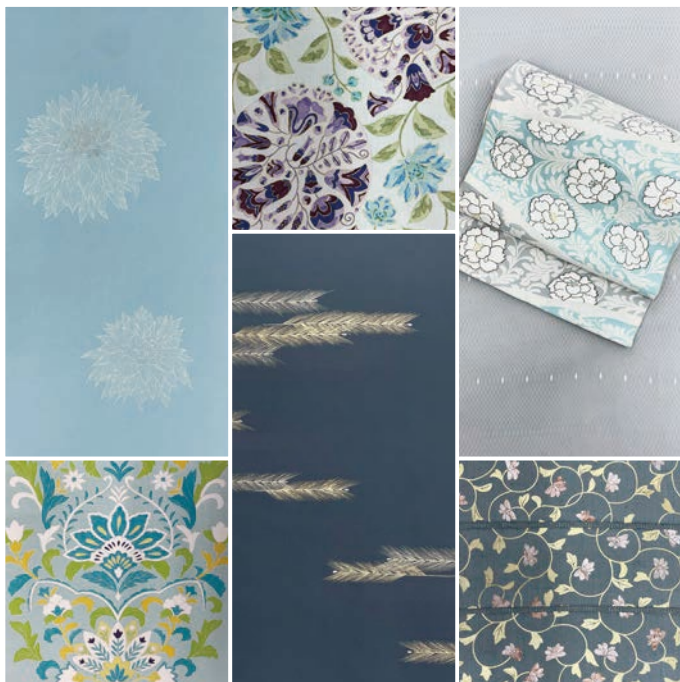
着用したときの立体美と、所作の中での流動美は  
光彩友禪の味わいであり

時にはエレガントに、時には上品に…

お召しいただくシーンによりさまざまな輝きを放ちます



## SENSE + SENSE



「きもの」を楽しむ。

モダンで知的な「きもの」スタイル。

衿を正し、背筋を伸ばして楚々と歩く。

モダンな空間にもすっと溶け込める

シンプルでひかえめ、

身近なお洒落着に。

素材感・色合わせで季節を取り入れ、

日常の中に「和」を楽しんでほしい。

そんな「きもの」と「おび」を

提案いたします。

匠の至高の技、美を纏う楽しみをあなたに





紅 京都丸紅株式会社

枡屋高尾

Flame Splash



京都・西陣の町で  
 “時に耐える美しさ”をもつ織物を  
 生み出すという理念を創業の原点とする  
 「枡屋高尾」と取り組んだ「Flame Splash」は  
 火と水をテーマにした  
 新しい出発です。



山形県・米沢市を中心  
 とした地域で生産さ  
 れる米沢紬。草木染  
 めの宝庫であり「長井  
 紬」や「紅花紬」など、  
 柔らかく美しい色合  
 いが魅力的です。

米沢  
紬



石川県・白山麓で織り上げられる  
 牛首紬。光沢があり、弾力性の強  
 い座繰り糸を使用し、ネップが  
 多く、野趣に富んだ優雅さと素  
 朴さが特徴です。その強さから、  
 別名「釘抜紬」とも呼ばれます。

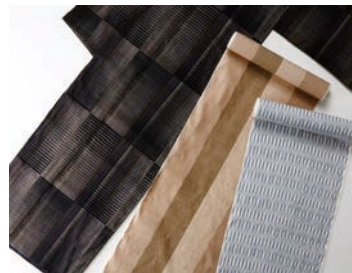
牛首  
紬



全  
国  
紬

16世紀初めに、その名声を高めた  
 結城紬。強靱にして堅牢。さら  
 らに着て暖かく、軽く、丈夫で、  
 着るほどに出る艶と洗みが魅力  
 です。他の追随を許さない紬と  
 しての風格をもっています。

結城  
紬



振袖

お嬢様の  
 二十歳の記念日を  
 彩る振袖…  
 その技と美

有松絞  
り  
 竹田庄九郎

400年以上の歴史を持つ、  
 神秘的なまでに精緻な伝統の手技「有松絞り」。



# Kyoto Marubeni



美展正会員  
中川華邨・作  
「黒縮緬地御殿に御所車文様振袖」



千家十職 永楽家十七代目  
永楽善五郎・作  
茶器「仁清写水指」

## 特別展示

# 京都丸紅 コレクション展

昭和2年に、京都丸紅株式会社が染織逸品会として創設した「美展」は、  
きもの文化の発展に貢献して回を重ねてきました。  
染織の名匠たちの巧みな意匠と確かな技術。時代の美意識。  
それらが出会う時、単なる和装品ではない、  
美術品の域にまで昇華された珠玉の作品が生まれます。  
こうして美展の逸品は美の歴史を重ねてきました。  
創業百五十余年の歴史の中で培われた美意識を、  
ぜひご覧ください。



重要無形文化財保持者  
羽田登喜男・作  
染額「おしどり」

美展正会員  
式代 上野為二・作  
「薄黄縮緬地群鶏文様訪問着」  
(若沖群鶏より)



※画像はイメージです。

## Collection Exhibition

当店では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、お客様の健康・安全を第一に考え対策を行っております。ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

検温を



実施しています

手指の消毒に



ご協力ください

消毒を



おこなっています

換気を



おこなっています

マスク着用を



実施しています

手洗いを



実施しています